

技が支える  
木の住まい

最優秀賞

2009年度

— 第2回 —

あおもり産  
木造住宅  
コンテスト  
作品集

城下町の家

優秀賞

夫婦で楽に暮らしたい

特別賞

あおもり産木造住宅コンテスト  
実行委員会

2009年度  
第2回  
あおり産  
木造住宅  
コンテスト

目次

2009年度  
第2回  
あおり産  
木造住宅  
コンテスト  
最優秀  
作品

技が支える  
木の住まい

株式会社大山建工



4P

2009年度  
第2回  
あおり産  
木造住宅  
コンテスト  
優秀  
作品



6P

城下町の家

青森スギで家を作る中南地域会

2009年度  
第2回  
あおり産  
木造住宅  
コンテスト  
特別賞



8P

夫婦で楽に暮らしたい

企業組合県木住



10P

青森県産材による長期優良県産材住宅  
株式会社今工務所



10P

大好きなおばあちゃんとおごした懐かしさの感じられる家  
株式会社伊藤光建設



11P

暖かな家に暮らしてほしい  
企業組合県木住



11P

ほっこり炎のある暮らし  
企業組合県木住



12P

熟年夫婦が住むふつうの家  
有限会社斉下建業



12P

木晴らしの家  
株式会社岩木建設



13P

南部あかまつ自然の家  
小林建設株式会社



13P

自然素材の家  
ボックス有限公司



14P

漁師の暮らしに合わせた心地よい木の家  
二本柳建築



14P

過去と未来を紡ぐ家  
株式会社青森ホームコンポーネント



青森県木材利用推進協議会 会長  
青森県木材委員会 会長  
住宅コンテスト  
木造住宅  
産材活用  
委員会  
実行委員  
あまもり

駒井 修一

## 刊行のことば

林業・木材産業の振興はもとより、木材

を生産する森林整備が進み、地球温暖化防止にも貢献することにつながります。

この作品集をご覧になった皆様には、青森県のみどり豊かな森林や自然環境を未来に向けて、守り、育て、伝えていくために、「私たちができること」を、あらためてお考えいただければ幸いに思います。

今回、応募してくださった作品の施工主、設計事務所、工務店をはじめ、インターネットやイベントでの公開審査に参加してくださった皆様、御指導・御協力いただいた関係各位に対し、深甚なる敬意と謝意を表す次第であります。

あもり産木造住宅コンテストは、県産材の

地産地消の推進を図り、県民の皆様には、青森県産材を使用した住宅の特徴や、それを造りあげる大工職人の高い技術を広く知っていただくために、平成20年から開催しており、今回で2回目となります。

県が行いましたアンケート調査によりまずと、県産材を使った木造住宅について、ほとんどの方が「健康に良さそう」、「住みやすそう」、「ぬくもりを感じる」などのイメージを持っており、また、住宅を新築、増改築する際には、9割近くの方が、「県産材を使用したい」と回答し、県産材住宅に多くの期待を寄せています。県産材を住宅建築に有効に活用することは、

## 審査全般について

審査委員会では、提出された書類や写真をもとに、間取りなどの設計及び内装・外観の印象などの「デザイン性」、「木の良さの活かし方」、「地域の気候・風土への配慮」、「地球環境への配慮」の4項目について審査いたしました。その結果をインターネットやイベントで、一般の方に投票していただいた結果と合わせ、1次審査といたしました。上位となったいくつかの作品について、実際の建物を見ながら行う現地審査を経て、あらためて、4項目の評価を行い、最終的な審査といたしました。

今回、応募された13作品は、どれも県産材の魅力を存分に引き出した素晴らしい作品で、設計からは住まい手を思う気持ちを感じ取られ、施工からは木の良さを活かす高い技術が見られました。

また、地域の気候・風土への配慮では、厳しい青森の冬を快適に過ごせるよう、床材に無垢の厚板を採用し、県産材の持つぬくもりやあたたかさを肌で感じられるように配慮された作品が多くありました。

### 【最優秀賞】株式会社大山建工

「枝が支える木の住まい」

木材と石材を組み合わせたリビングは、吹き抜けが大きく、広さを感じるように配慮されたすばらしいデザインとなっており、リビングを中心に家族が一体感を持つ部屋構成となっています。

梁には八角形に加工した南部アカマツ、柱にはスギを使用しており、木材を適材適所で配置されており、特に、木材の使い方に力強さを感じる梁の組み合わせを実現した、職人の匠の技を高く評価しました。

さらに、南部地方の森林から産出された県産材100%で建築しているだけでなく、アカマツの梁やスギの柱を製材した際に発生する端材を、丁寧に加工し、床材や天井として余すことなく活用していることも、環境へ配慮している点として評価できます。

県産材をふんだんに使用していながらも、内部・外部ともに、バランス良く木材を配置された高いデザイン性から、全ての世代向けの県産材木造住宅のモデルとなりえる作品であり、公開審査と審査委員審査の双方で高得点を獲得し、最優秀賞に選ばれました。

青森県建築士会 会長

## 講評

川島 芳正

【優秀賞】青森スギで家を建てる中南地域会「城下町の家」  
この作品は、外観を低く抑え、情緒豊かな周囲の景観に溶け込むように、落ち着きのある数寄屋風にデザインされています。

リビングは、大きな柱や梁などの構造体を活かし、ダイナミックで開放感のある現代的な空間となっていて、2階の子供室との間は、吹き抜けを設けたことで大きな住宅でありながら、家族の存在をお互いに感じられるように配慮されています。一方で和室は、外観のイメージと同じように純和風で、県産材の魅力に溢れる、落ち着きある空間に仕上げられています。来客空間と生活空間でそれぞれの用途に応じた設計が行われている点が高く評価されました。

構造材はもちろんのこと、内装材についても床板にアカマツやスギ、水回りにはヒバを使い分け、適材適所で県産材を活用していることも木の良さを活かす点で評価できます。

純和風の県産材木造住宅のモデルとなりえる作品であり、公開審査と審査委員審査の双方で高得点を獲得し、優秀賞に選ばれました。

### 【特別賞】企業組合県木住

「夫婦で菜に暮らしたい」

この作品は、退職されたご夫婦が、それぞれのライフスタイルを大切にしながら共に暮らせるようにデザインされています。

県産材をふんだんに使用し、特に活用が求められているスギ間伐材を多用した家づくりを行っている点が高く評価されます。

また、施工参加型の家づくりを実践しており、施工主の伐採や建築への関わり、さらに「伐つたら、植える」林業の基本に基づき、住宅完成後にユーザーとともに植栽を行うなど、住宅への県産材利用にとどまらず、森林資源の循環利用に対する理解を広く普及啓発している点も評価されます。

第二の人生を夫婦で歩む世代向けの県産材木造住宅のモデルとなりえる作品であり、木材の良さを活かしている点が評価され、特別賞となりました。

# 技が支える 木の住まい

家族団樂の場となる豊かな空間のリビング

「木をふんだんに使った家を」と依頼され、それをお施主様と作り手である職人がともに造り上げた「木の住まい」です。

外観は、2段に葺き下ろされた屋根と格子のアクセントで、低いフォルムに大人しい水平ラインを強調した、落ち着いた雰囲気としました。玄関の土間を通じて庭と連続するアウトドアリビングを設けて、外部と一体的な多彩な使い方を可能としています。

内部は大きな吹き抜けを持つリビングが家の中心に位置し、自然と家族が集まる団らんの場となるように設計されています。

吹き抜けを支える梁には樹齢100年を超える南部産のアカマツを丸太の形状に合わせて、職人が意匠を整え使用し、ひと削りの手間を惜しまないことで、自然の木がぐつと身近なものになっています。また、土台には腐朽に強いクリ材、柱には目が詰まった90年生のスギ材など、適材適所で使用しております。

木材は全て青森県産で、和室周りをスギに、リビングにはアカマツを使用し、木肌が与える室内への効果も考慮して材料

を配置しています。床板にはクリ、スギ、アカマツと各部屋の用途や雰囲気に合わせて選定し、通常は廃棄される端材も床材や天井として加工し、長物と併せて使用することで、違和感なく仕上げられています。

資源の有効活用は、これからの時代において最優先される課題であるとの考えから、屋根にはソーラー発電システムを設置し、内部は気密性と断熱性を高めることで、省エネルギーを図っています。

一見単純な形ながらも内部の架構は複雑で、大工の知識と経験に裏付けられた我が国の伝統の木組みを規範として、現代の住まいの創造を図った、「技が支える木の住まい」です。

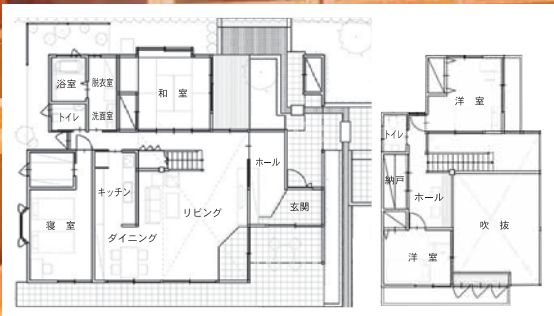
家族が一生住む家、その造る過程の時間を「住まい手」と「造り手」が共有する。木の住まいであるからこそ、共に共有できるものがあります。

八角形に刻まれた  
南部アカマツの梁





# 株式会社大山建工



アカマツの登り梁が作り出すダイナミックな吹抜け



スギで組み上げられた和室



釘を使わないで組み上げた手すり



高い技術を持つ職人が作り出す「木組み」



木製の格子が印象的な外観



梁の端材を加工して使用したアカマツの床材

- 所在地: 八戸市
- 県産材使用量: 68㎡
- 県産材使用率: 100%

- 設計者: 暮らし十職一級建築士事務所  
TEL: 048-592-6662
- 施工者(応募者): (株)大山建工  
住所: 〒039-1502 三戸郡五戸町大字切谷内字淋代14-1  
TEL: 0178-21-3055 FAX: 0178-21-3033
- 木材調達先: 青森県森林組合連合会  
TEL: 017-723-2657



# 城下町の家

敷地周辺は数多くの歴史的建築物が点在し、情緒豊かな一帯となっていて、こうした街並みの景観を壊すことなく、溶け込ませるように同化させることを試みた住宅です。基本的なデザインは、伝統工法である数寄屋という建築様式を取り入れています。洗練された茶道の奥深い思想にならい、日本人の奥ゆかしさを表現したものです。脈々と伝えられてきた自然素材を常

とした和の世界を強く打ち出して、自然との調和を図り、現代の生活様式にも合うよう工夫をしています。

構造材には、土台はシロアリに強いヒバ、柱はスギ4寸角を使用し強度を高めています。内部は隅々まで明るさを確保できるよう直進する光の特性を活かし、遊びもあしらいながら廊下の取り方に配慮しています。居間には掘ゴタツを造り、それを

囲みながら楽しく一家団欒を図れるようにしています。

内装は、「侘び」の世界を表現するため、珪藻土等の自然素材と真壁納まりとし、しつかりとした落ち着いた空間にしています。床板は、暖かさを感じられる無垢材にし、1階にアカマツ、2階にスギを使用しています。さらに壁・天井もスギ、ヒバ、アカマツの無垢材を多用し、珪藻土と併せて調湿効果

を高めるように配慮しています。

また、居間・食堂は天井を高くして大きな空間としていて、太ものアカマツの梁を、7寸角の県産ヒノキの大黒柱で受ける光景からは、包み込まれるような安心感を味わえます。さらに2階の子供室と繋がるように一部を吹抜にし、常に家族の存在を自然に感じられることも、この住宅の大きな特徴のひとつになっています。

# 青森スギで家を建てる中南地域会



センの無垢材を使用した階段



施主が選んだ床柱とスギ無垢天井板で作られた和室



曲線的な勾配をつけた寝室の天井



無垢材と珪藻土で仕上げたトイレ



水回りに強いヒバで作った浴室と脱衣室



趣のある外観



高級旅館をイメージした玄関と取次

- 所在地: 弘前市
- 県産材使用量: 24㎡
- 県産材使用率: 44%

- 設計者: 有限会社木戸建築設計事務所  
TEL: 0172-33-0969
- 施工者: 株式会社佐藤建設  
TEL: 0172-97-2456
- 応募者: 青森スギで家を建てる中南地域会  
住所: 〒036-8002 弘前市駅前2丁目20-17  
TEL: 0172-33-2995 FAX: 0172-33-0266
- 木材調達先: 青森県森林組合連合会津軽木材流通センター  
TEL: 0172-52-5011

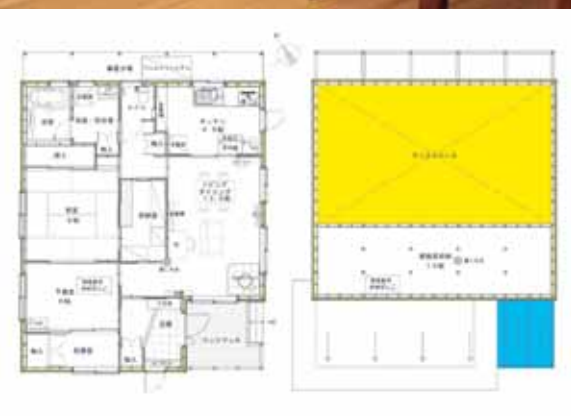


2009年度  
第2回  
あおり産  
木造住宅  
コンテスト

優秀  
作品

# 夫婦で楽に暮らしたい

床材はぬくもりを感じる42mm厚のスギ





# 企業組合県木住

「ここに住む自分たちが楽に暮らせるように」と考え抜いた、動線に無駄のない平屋プランです。

外壁はスギの板張りで覆い、浸透性の木材保護塗料を塗布し、昔からそこにあつたかのような佇まいに仕上げました。

玄関を入るとヒバで造られた靴収納から漂ういい香りが出迎えてくれます。土台はヒバ、柱・屋根下地はスギ、梁はアカマツと全て青森県産材を使用し、さらに構造材が見える真

壁を採用したことで、木のぬくもりが存分に味わえる仕上がりとなっています。特にリビングには、コンパクトな薪ストーブを設置し、ゆらりと優しく揺れる炎を眺めながら、ゆったりとすごせる空間となりました。

キッチンの窓から季節の移ろいを感じながらのお菓子作り。床には、長時間の立ち仕事でも足が疲れず、夏のベトつきを回避し、冬には木のぬくもりを肌で感じることで、一年中裸足で快適に過ごせる、厚さ42

mmのスギ間伐材を使用しております。また、木の統一感をだすため、建具や造作部分にも床材と同じスギを多く使いました。

いずれ建て替える、手直しする際に再利用できる無垢材を使うことで、環境への負荷を軽減しています。

スギ間伐材を柱や床として使うことで、青森の林業が活性化し、森の手入れが行き届くようになれば、二酸化炭素をたっぷり吸収する健全な森林を育てることができそうです。



良質の材料で作るお菓子作りのためのキッチン



建具にも床材と同じスギを使用



収納室を中心に回遊できる生活動線



周囲の環境になじんだ外観



柱に使うスギは施主自ら伐り倒す

薪ストーブの炎を眺めながらくつろげるリビング



- 所在地: 青森市
- 県産材使用量: 33㎡
- 県産材使用率: 100%

- 設計・施工者(応募者): 企業組合県木住  
住所: 〒030-0813 青森市松原1丁目16-25  
TEL: 017-732-5333 FAX: 017-732-5777
- 木材調達先: 青森県森林組合連合会  
TEL: 017-723-2657

# 青森県産材による 長期優良県産材住宅



狭小住宅を感じさせない開放感のある空間

狭小住宅とは感じさせない開放的な空間をつくりだした。玄関より居間への廊下はあえて天井仕上材を貼らず、上部床及び軸組を露出させ木の優しさ・強さをデザインの一部分として組み込み、また、体感できるようにした。地元青森県で小さな苗から何十年、何百年か育った、大きな「木」の力を借りて、叫ばれる「地球環境の改善・「積雪寒冷地対応の住まい」・「良質な住宅のストックの形成」等、いま求められている住宅像を追い求め、実現させた住宅です。

青森で育った「木」は、形は変われど、これから先、家族全員のことをずっと暖かく見守ってくれることでしょう。



構造材を露出させ「暖かさ」を演出

無落雪型式の屋根を採用したシンプルな外観

■所在地:五所川原市 ■県産材使用量:10㎡ ■県産材使用率:65%

■設計・施工者(応募者):株式会社今工務所

住所:〒037-0044 五所川原市字元町1 TEL:0173-34-3361 FAX:0173-35-3933

■木材調達先:有限会社中西製材所 TEL:0173-53-3222 株式会社石郷岡 TEL:0172-35-2100



# 大好きなおばあちゃん 過ごした懐かしさの感じられる家



柔らかさを感じるスギ床材

外観は切妻屋根が特徴の住宅です。玄関を入ると土間が続ぎ、家族専用の玄関収納があります。来客時には障子を閉めることで、ご家族とお客様の靴脱ぎ場を別々にするように工夫しています。

土台にはヒバ、柱には4寸角の柱を使用しています。内部にはスギの床、壁、造作建具の扉にいたるまで県産スギ材を使い、天井には1尺5寸もの梁を現しでかけています。

手や足の裏から無垢のスギの柔らかさが伝わってきて、目では木の温かみある色合い、木目を楽しんでいただけるように配慮した造りになっています。和室まわりに使用する柱には特にこだわり、樹齢80年生以上の県産スギ材を使用しています。

杉材を使用しています。

また、木材だけでなく照明にも、金山焼やブナコ、津軽びいどろ等の青森県産のものを取り入れ、「地産」「地消」「地加」に配慮しています。

これにより、『大好きなおばあちゃんとお過ごした懐かしさの感じられる家』が完成しました。



壁や建具にも県産スギ材を使用

大きな切妻屋根

■所在地:鶴田町 ■県産材使用量:42㎡ ■県産材使用率:100%

■設計・施工者(応募者):株式会社伊藤光建設

住所:〒030-0852 青森市大字大野字若宮140-29 TEL:017-739-4466 FAX:017-739-3880

■木材調達先:青森県森林組合連合会 TEL:017-723-2657





# 暖かな家に 暮らしてほしい



屋根下地を現しにしたダイナミックな空間 暖房はペレットストーブ

全ての構造材に青森県産材を使用し、木のぬくもりが存分に味わえる仕上がりとなっています。特に柱や床材に使用したスギは、間伐材を利用しており、健全な森林環境にも役立っています。

暖房には、この青森で育った木を使い、カーボンニュートラルにもなる木質バイオマスを使った暖房方法にしたいとペレットストーブを導入しました。

当面は夫婦二人で住む住宅のため、ほぼ1階で過ごせるプランとし、外観は落ち着いたある和風の佇まいを意識し、年月が経っても古びた感じがいい雰囲気を出せるよう焼きスギの板貼りで覆いました。玄関を入ると人目



天井との一体感を求め建具にもスギ材を使用

を引く、リビング入口戸の組子建具。そこを開けると気持ちのいい吹抜けと共に、以前の住宅で使われていた欄間が、また違う表情で見守っています。これからの時間と共にスギ床がだんだんと味わい深くなり、この欄間のような色合いになっていくことで、そして、いづれ住み継いでいく住宅となります。



焼きスギとモルタルで仕上げた和風を意識した佇まい

■所在地: 青森市 ■県産材使用量: 30㎡ ■県産材使用率: 100%

■設計・施工者(応募者): 企業組合県木住  
住所: 〒030-0813 青森市松原1丁目16-25 TEL: 017-732-5333 FAX: 017-732-5777  
■木材調達先: 青森県森林組合連合会 TEL: 017-723-2657

# ほっこり炎の ある暮らし



薪ストーブを囲むように配置したストリップ階段

小さな子どもたちと共に成長できる薪ストーブのあるプランです。空を見上げるような片流れの屋根にし、外壁はモルタルポイントでガルバリウムと青森スギを使い、メンテナンスがしやすい、ちよっとした木づかいをしました。玄関ドアを開けると、土間に敷いてある那智石と柱や床のスギの節模様が不思議と似た雰囲気を持っていて落ち着きます。

リビングの一角に念願の薪ストーブを設置。取り囲むように階段を配置し、1階と2階が薪ストーブでつながった空間を共有します。その脇には、タモをカウンターに使ったみんなで使える書斎スペースを設けました。子供たちがのびのびと遊べるよ



和室を一段高し、ソファ代わりに

う、子供室は仕切らず、入口戸を設けていません。

全ての構造材に青森県産材を使用し、木のぬくもりが存分に味わえる仕上がりとなっています。特に柱や床材に使用したスギは、間伐材を利用しており、健全な森林環境にも役立っています。



外型はモルタル、ガルバリウム、青森スギを使用

■所在地: 青森市 ■県産材使用量: 32㎡ ■県産材使用率: 100%

■設計・施工者(応募者): 企業組合県木住  
住所: 〒030-0813 青森市松原1丁目16-25 TEL: 017-732-5333 FAX: 017-732-5777  
■木材調達先: 青森県森林組合連合会 TEL: 017-723-2657

# 熟年夫婦が 住むふつうの家



夏には風通しの良い開放的な大空間

2階建てでありながら、平屋を思わせる大屋根の家は定年を迎える熟年夫婦の住まいです。玄関からリビングに入ると、コンパクトな外観から一転し大きな吹き抜けのある広々とした空間が広がり、ピックアップインドールから風景が楽しめます。室内はスギやアカマツなど、無垢の構造材をあらわして使っており、1階の床材には無垢のカバ材、2階にはスギを使用。天井には青森ヒバとスギを使用し、壁は珪藻土で仕上げられ、無垢材との相性も良く落ち着いた雰囲気を出しています。

する熱を利用して、床下のコンクリートを温める、独自の排熱利用の換気システムを採用し、やわらかく温めています。内部仕上げは、木、和紙、珪藻土など自然素材にこだわり、健康的に安らげる家造りを心がけました。

寒冷地対策として、Q値C値は次世代省エネ基準を超えた性能です。パッシブ手法も活用し、24時間換気で排気



デッドスペースの無い小屋空間

平屋を思わせる大屋根の外観

■所在地:八戸市 ■県産材使用量:32㎡ ■県産材使用率:94%

■施工者(応募者):有限会社齊下建業  
住所:〒034-0011 十和田市稲生町14-48 TEL:0176-22-7845 FAX:0176-22-7871  
■設計者:甲田設計 TEL:0176-23-4203  
■木材調達先:上北森林組合 TEL:0172-69-1200



# 木晴らしの家



桜の羽目板で楕円形に仕上げた玄関の壁

お施主様は体によい自然志向主義で「体に良い木の家に住む」ことを望んでおりました。書道と居合道の指導者で、日本の伝統を後世に伝授することをライフスタイルとしており、それを武家屋敷風のデザインとして表現しております。建築場所は海からの潮風が当たるので、サビを考慮し外装は瓦屋根と漆喰壁です。太い柱、太い梁をしっかりと組み表し、地震に強い住宅への安心感を持たせ内装は漆喰壁とふんだんに木を使用し、建具はスギとステンドグラスを組み合わせています。

は、素足の肌触りと心地よさ、梅雨期の調湿作用効果、冬の保温力など木の効果を存分に体験できます。木と木の組み合わせが、それぞれの美しさを引き出しています。

住む人のスタイル、デザイン、メンテナンス、気候風土、環境に配慮した住宅となりました。

特に天井梁は上り合わせ組みの伝統工法を用い、あらゆる角が面取りされて滑らかで柔らかく、「大工職人ならではの心配り」です。30mm厚のスギ床材



開放感とぬくもりのあるリビング

武家屋敷風デザインの外観

■所在地:八戸市 ■県産材使用量:48㎡ ■県産材使用率:80%

■施工者(応募者):株式会社岩木建設  
住所:〒034-0107 十和田市大字洞内字井戸頭175-1 TEL:0176-27-2906 FAX:0176-27-3259  
■設計者:設計工房プランズ TEL:0176-27-2906  
■木材調達先:株式会社わかもと TEL:0176-28-2244





# 南部あかまつ 自然の家



薪ストーブ1台で家中の暖房をまかなう

風土に合った木で建てる家は長く  
住む家造りの基本です。木が育ちを止  
める寒い寒期に伐った「冬の木」を原  
木で仕入れ、長い時間をかけ自然乾燥  
させ、用途に合わせて製材し使用して  
いきます。それによって木の狂い(曲  
がり等)が最小限に抑えられ、職人の  
「技」がなければ出来ない「木の家」が  
造られていきます。

この家も地域風土に合った県産材  
のアカマツ・スギ等を使用し、天然乾  
燥の無垢材を「見せる」、木材の梁・柱  
等を「現す」家に造り上げました。床は  
スギ材を使用しており厚さ30mmの無  
垢材でスギ材は保温性に優れており  
一度温まるとストーブを消してもな  
かなか温度が下がりにません。

真壁構造梁現しにより、構造体が住  
む人の目に触れ、木の良い香りと薪ス  
トープの炎を眺めながら過ごす時間  
は、住む人に愛着と和む心を与えてく  
れます。職人ならではの「技」と自然素  
材の良さをかね合わせた住宅になっ  
ております。



現しにした南部あかまつ



硬質発泡ウレタンで高気密・高断熱を実現

■所在地:八戸市 ■県産材使用量:27㎡ ■県産材使用率:80%

■設計・施工者(応募者):小林建設株式会社

住所:〒031-0022 八戸市大字糠塚字大開2-11 TEL:0178-45-1377 FAX:0178-47-1785

■木材調達先:株式会社高橋林業 TEL:0178-82-3192

# 自然素材の家



家族が多目的に使える畳スペース

若い世代程アレルギー体質が多く、  
住いに配慮が必要なのに、現実には収入  
の点で無理があった。自然素材の家と  
銘打って坪39万円で規格化して、若い  
世代にも建てられるような普及タイ  
プを開発しました。

この住宅の構造材は全て地元の木  
で、土台にクリ、柱はスギ、梁はアカマ  
ツを使います。家の中心にはニレの30  
センチ角の大黒柱が2階の屋根まで  
届きます。建具は職人技が光る手作  
り。フローリングもアカマツやクリな  
ど構造材の残りから作るなど地元材  
がふんだんに使われています。漆喰の  
壁は、湿気の調節機能や二酸化炭素の  
吸収をします。また、スギ材にも同じ  
ような作用があります。

リビングには吹き抜けの大空間が  
階段を中心に広がります。床には畳  
スペースがあり、家族が多目的に使  
えます。  
オール電化を採用した、冬の寒さ知  
らずの快適空間は断熱や気密性能の  
高さが必要です。そうした現代の最高  
基準で設計された住まいです。



ニレの大黒柱と吹き抜け



通風と採光に配慮した大きな開口部

■所在地:八戸市 ■県産材使用量:24㎡ ■県産材使用率:100%

■施工者(応募者):パックス有限会社

住所:〒031-0813 八戸市大字新井田字石動木平1-1 TEL:0178-25-6020 FAX:0178-25-5542

■設計者:大西昇 TEL:0178-25-6020

■木材調達先:有限会社夢ハウス TEL:0178-60-1611

# 漁師の暮らしに合わせた 心地よい木の家



海に囲まれた開放感のあるダイニング

外壁に地元産の4mスギ材をふんだんに使い、和風になりすぎないデザインで、海と空と景観に合いながらも存在感を持たせています。間取りは、漁師のご家族が快適に過ごせることができるように、流し台のある裏玄関や広い食品庫など、漁師の暮らしに合わせた心地よい木の家としました。

構造材は、耐久性を考えて1階の土台や柱は県産のヒバ、2階の柱にはスギ材を使用しました。内装は、ホタテ貝殻を利用した自然素材で、化学物質を吸着する「チャフウォール」を使用し、木材は和室の天井や腰壁、市松模様の収納扉などポイントを絞って使用しています。

昼は船が行き来する海を望み、夜は

漁り火が楽しめる、まるで海に囲まれているかのようなダイニングは、たつぷりと差し込む太陽の光と、波の音も吸収する木質繊維の断熱材の効果とあわせて、冬でも静かに暖かく過ごすごとができます。



柱目を生かし市松模様に仕上げた収納扉



スギ材を用いた存在感のある外観

■所在地:むつ市 ■県産材使用量:19㎡ ■県産材使用率:38%

■設計・施工者(応募者):二本柳建築  
住所:〒039-4401 むつ市大畑町赤川村18-2 TEL:0175-34-4934  
■木材調達先:有限会社長谷川製材所 TEL:0175-34-2527

# 過去と未来を 紡ぐ家



5.7m×6.4m(11坪)の大空間を実現したLDK

高気密・高断熱、魔法瓶のような家では、冬の過乾燥が生じ、それによる健康被害が起ることもあり得ます。構造躯体が強固で、それ自体が調湿機能を持ち合わせ、冬暖かく、夏涼しく、明るく健康的で更にエネルギーコストを抑えられたら最高です。それがリグノトレンドの家造りです。

外観はあえて控えめにし、桜の木との調和をはかり、内部はモダンで明るく解放的な空間としました。内部間仕切りや、建具を極力少なくして生活の機能性を重視しています。LDKを柱・壁がない一室とし、更にロフトへと続く勾配天井を実現することで、開放

感たっぷりの住宅となりました。内装には無垢材を使用し、室内はホッとする様な木の香りが漂い、安心感を与えます。

世代を超えて、受け継いでも誇れる家。明るく健康的な室内環境。年配の方が元気に暮らせる事。そんな家を目指し、浮かべてください。



ロフトへと続く勾配天井



桜との調和を図った控えめな外観

■所在地:青森市 ■県産材使用量:15㎡ ■県産材使用率:39%

■施工者(応募者):株式会社青森ホームコンポーネント  
住所:〒038-0059 青森市油川字柳川1-3 TEL:017-788-6483 FAX:017-788-6145  
■設計者:エス・アイ・アール建築計画事務所 TEL:017-721-5622  
■木材調達先:株式会社青森ホームコンポーネント TEL:017-788-6483



# あおり産木造住宅コンテストの概要

青森県は多様な樹種が分布する森林県であり、特にスギの人工林面積は全国4位と豊富な資源量を誇っております。

この恵まれた森林資源を有効に活用し、



という「森林の循環」をつくり、私たちに様々な恵みをもたらす、青森の森林を元気にするために、県産材を積極的に利用する取組を推進しています。

あおり産木造住宅が増えると・・・

県産材がどんどん利用されるようになり、「森林の循環」を促進し、新たな森林を育てることにつながります。

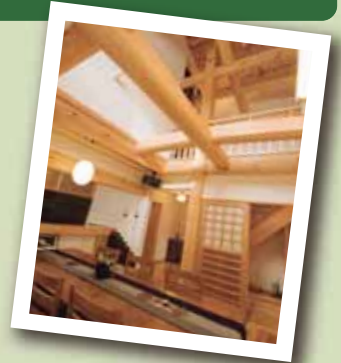
元気に育つ森林は、CO<sub>2</sub>たっぷり吸収し、地球温暖化の防止に役立ちます。



安全・安心で良質な県産材の木造住宅を広く県民の皆様にご覧いただき、木材の地産地消を推進するため、『あおり産木造住宅コンテスト』を開催しています。

## コンテストの対象住宅

- ①青森県内において建築された新築の一戸建て木造住宅
- ②平成19年4月1日から平成21年10月31日までに完成したもの
- ③青森県産材を概ね10m<sup>3</sup>以上使用しているもの
- ④過去に類似の賞に入選したことのないもの
- ⑤過去にあおり産木造住宅コンテストに応募していないもの



コンテストでは、インターネット等によるアンケート形式の公開審査及び審査委員会による書類審査と現地審査を実施し、以下の審査基準で総合的な審査を行います。

### 審査基準

- ①デザイン性・印象
- ②木の良さが活かされているもの
- ③地域の気候、風土への配慮がされているもの
- ④地球環境への配慮がされているもの

### 審査委員

#### 【審査委員長】

(社)青森県建築士会

会長 川島 芳正

#### 【審査委員 (順不同)】

(社)青森県建築士事務所協会

会長 野呂 敏秋

青森県木材協同組合

理事長 齋藤 渉

青森県県土整備部建築住宅課

課長 館山 繁

青森県農林水産部林政課

課長 樋口 浩文

### 主催：あおり産木造住宅コンテスト実行委員会

青森県木材利用推進協議会、(社)青森県建築士会、青森県森林組合連合会、(社)青森県建築士事務所協会、青森県木材協同組合、青森県森林整備事業協同組合、(社)青森県林業会議、青森県建築住宅課、青森県林政課



県産品PR用  
イメージキャラクター  
決め手くん

### 応募用紙提出先

- **青森県農林水産部林政課林産振興・普及グループ**  
〒030-0801 青森市長島一丁目1番1号  
TEL : 017-734-9517 FAX.017-734-8145
- **東青地域県民局 地域農林水産部林業振興課**  
〒030-0801 青森市新町二丁目4-30  
TEL : 017-734-9963 FAX.017-734-8305
- **中南地域県民局 地域農林水産部林業振興課**  
〒036-8345 弘前市大字蔵主町4  
TEL : 0172-33-3857 FAX.0172-32-8544
- **三八地域県民局 地域農林水産部林業振興課**  
〒039-1101 八戸市大字尻内町字鴨田7  
TEL : 0178-23-3595 FAX.0178-23-2801
- **西北地域県民局 地域農林水産部林業振興課**  
〒038-2753 西津軽郡鰯ヶ沢町本町209  
TEL : 0173-72-6613 FAX.0173-72-6618
- **上北地域県民局 地域農林水産部林業振興課**  
〒034-0093 十和田市西十二番町20-12  
TEL : 0176-24-3379 FAX.0176-22-9161
- **下北地域県民局 地域農林水産部林業振興課**  
〒034-0073 むつ市中央一丁目1-8  
TEL : 0175-22-8581 (内線244) FAX.0175-22-3212

### あおり産木造住宅コンテスト実行委員会

青森県木材利用推進協議会、(社)青森県建築士会、青森県森林組合連合会、(社)青森県建築士事務所協会、青森県木材協同組合、  
青森県森林整備事業協同組合、(社)青森県林業会議、青森県建築住宅課、青森県林政課 (順不同)